

2022（令和4）年度第2回組織等検討委員会 議事録

開催日時：令和4年11月6日（日） 14:00～15:00

開催場所：中中村集会所

出席者：宮崎委員長、金田、國本、伊藤、佐佐木、足立原（以上委員）、

江口（会長）、藤原（会計）、冨塚（庶務）、

松永上中村自治会長 長尾中中村自治会長 森田下中村自治会長

敬称略

司会：宮崎委員長

記録：國本

議事

1、町内会長、委員長挨拶

2、内 容

（1）今年度の取り組みについて

①各自治会の現状の会員数と加入促進活動への取り組み

上中村：会員数は年度当初と変わらない。

加入促進委員会をつくり、防災に役立つバケツ配布など行い加入を呼び掛けている。

中中村：年度当初から移転などで3件減。

OB会が中心となり、チラシや都からの補助金を活用した簡易トイレの配布などにより勧誘活動を始めている。

下中村：年度当初から死亡などで3件減。新規加入1件

加入促進プロジェクトを立ち上げ、災害対応など自治会加入のメリットを紹介しながら声かけをしている。

②現状に関して各種意見

- ・加入勧誘活動で効果があったツールは情報共有できるようにしたらどうか。
- ・昨年度、町内会として勧誘の案内を作成しているので、自治会独自の案内と合わせツールとして利用したらどうか。
- ・会員減少、新規獲得の困難さの要因は会員になると役員の順番が廻ってくるのが中心。
- ・町内会の役員割り当てが多すぎるのではないか。（同じ人が委員を兼任している現状もある）
 - 町内会の本質に立ち返り、組織のスリム化が必要だと思う。
 - 町内会の目的 → 災害時などの助け合いの機能。
 - ← 仲間づくり、コミュニケーションの場としての機能。
- ⇒ 組織検討委員会の検討課題として町内会のあり方の議論を中心としたらどうか。
- ・各種委員会が生まれた要因は五役会の負荷を軽くすることだったが、逆に委員会が増え、委員の役割分担数が増大している。
- ・班長数についても統合など班構成の適正化を図っていく必要がある。

（2）委員長より、今後の検討課題についての提案事項（町内会賑わいプロジェクトの創出）

①町内会組織

○若者、子どもにかかわる委員会の創出

子ども会の会員の減少に対応した組織。

子ども会任せにせず、直接的に活動に参加、または運営を行う。

※盆踊り：踊り、防災訓練：子ども班、年末パトロールなど

○高齢者支援委員会の創出

長寿会、民生委員との連携

声かけ等の支援、防災委員会との連携

※組織等検討委員会の組織内委員会として始めてみたらどうか。

②盆踊り、みこし祭りの内容の検討（まつり実行委員会での検討）

◎参加者からの意見等

- ・様々な課題の解決にはまず人が顔を合わせるイベントが鍵だと思う。
 - 少しずつ動き出しているので各自治会で様々な機会創出の努力が必要ではないだろうか。
 - スポーツ文化倶楽部のイベントが開催される。
 - 中中村は12月の恒例のイベントは実施する。
 - 下中村は1月にポイントラリーを実施する。
 - 小山桜まつりは来年春に実施予定という情報がある。

③その他

- ・組織検討委員会の役割に関する各種意見
 - 会員の勧誘活動は、各自治会の主体性に任せ、組織検討委員会は資料提供などのサポート役でいいのではないか。
 - 委員会での検討対象は町内会の本質的な部分について議論としたらどうか。
 - 組織検討委員会は町内会長の諮問機関でもあり、今後の在り方は次回町内会総会に諮るべく、委員会の在り方について検討したい。
 - 五役会と各委員会の権限や役割などを明確にする必要もある。

・次回予定

日程：1月15日（日）14：00～

議題：委員会の在り方について、他

参加：組織検討委員および町会4役 等

以 上